

土肥

(平塚中等
教育学校)

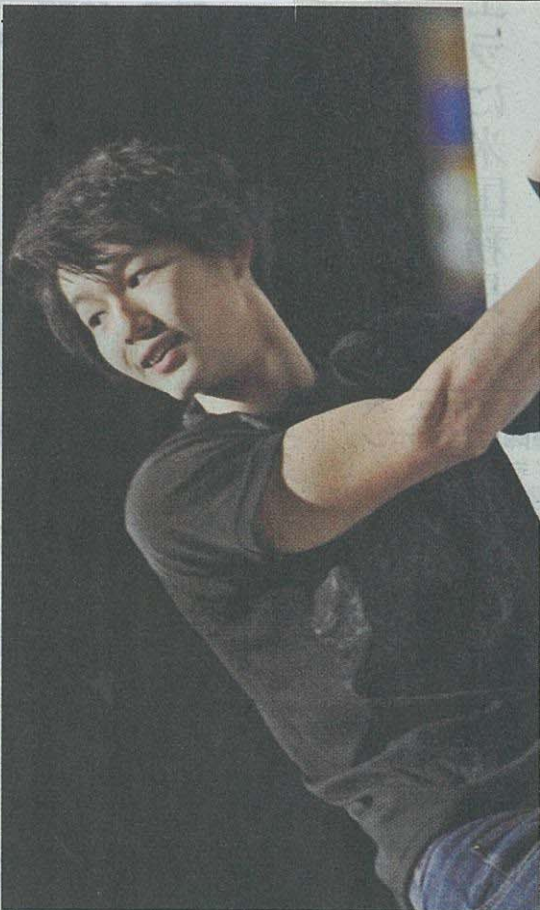
3位

男子

ボルダリング
ジャパンカップ
スポーツライミング
のボルダリング・ジャパ
ンカップは27日、東京・
駒沢屋内球技場で準決勝
と決勝が行われ、男子は
土肥圭太(平塚中等教育
学校)が3位入賞を果た
した。緒方良行(神奈川
大)は準決勝で敗退した。

22歳の石松大蔵(Ba
se Camp)が唯一
の3完登で初優勝した。
女子は昨季ワールドカ
ップ(W杯)総合優勝を
目指した野口啓代(TE
AM au)は野中と同
じ3完登だったが、課題
本一となった。
女子で12度目の優勝を
スに当たるゾーン獲得数
で下回り2位だった。

▽男子決勝 ①石松大蔵(Ba
se Camp) 完登数3、ゾ
ン獲得数3、②橋崎智(TEAM
au) 2、③土肥(神奈川・平
塚中教校) 2、④
(石松は初優勝。2、3位は完
登に要したトライ数の差による)
▽女子決勝 ①野中生萌(XF
LAG) 完登数3、ゾーン獲得数
4、②野口(TEAM au) 3、
③伊藤(TEAM au) 2、
④(野中は初優勝)



決勝の第2課題を完登し、笑
顔を見せる平塚中等教育学校
の土肥
—東京・駒沢屋内球技場



準決勝8位で決勝進出を逃した神奈川大の緒方

神大 緒方 決勝逃すも心成長

準決勝で8位に終わっ
た緒方(神奈川大)は力
を發揮しきれず決勝進出
を逃した。東京五輪代表
きずっていたけど、気持
ちを切り替えることがで
きた」と持ち直し、意地
で予選通過を決めた。

現在、緒方は日本山岳
・スポーツクライミング
協会の五輪強化指定選手
Bに登録されており、神
奈川大の同僚で代表トッ
プのSランク、原田(日
新火災)を追う立場だ。

福岡・明善高から神大
に進み、今春で4年にな
る20歳は「五輪に出たい。
それをずっと目標にやっ
てきた。その思いの強さ
は負けない」と自らを鼓
舞するように次戦をにら
んだ。

(織田 匠、写真も)

見せた潜在能力の高さ



そそり立つ壁の最大傾斜は
約140度。重力に逆らい、
突起物の「ホールド」を離さ
ない保持力に「トップ」へと
つながるコースを見極める確
かな眼力。土肥(平塚中等教
育学校)は「出来すぎですね」

と謙遜したが、潜在能力の高
さを存分に見せ付けた。
決勝は第1課題を2回目の
トライで完登して勢いに乗る
と第2課題も制覇。一時4位
に後退したもの、一人もク
リアできなかった最終課題で
粘り強くゾーンをもぎ取り、
3位に食い込んだ。
昨年はいス五輪の複合で
金メダルを獲得し、日本山岳
・スポーツクライミング協会
の年間優秀選手賞にも輝い
た。その有望株にとって、今
大会は「今年で一番頑張ろう
と思っていたくらいの大大会だ
った」と強い覚悟で向かって
いたという。

「楽しい、楽しいという気持
ち」で競技を本格的に始め、
寒川町にある練習施設へ一人
で電車に乗って通い続けるう
ちに「生活の一部みたいなも
の」になったという。
大学に進む2019年は世
界選手権も控え、東京五輪代
表選考が本格化する。「そこ
に混ざれるくらいの実力が、
五輪(代表争い)を利用して
付いていけば」と冷静に語る
18歳は「今後は『自分は強い
んだ』というくらいの気持ち
で臨みたい」と大きな自信を
手に入れた。

(織田 匠、写真も)

各課題の難易度が高か
った準決勝は他の選手も獲
得しながら加点したもの
の、完登はゼロで順位を
伸ばせなかった。
一方で精神的な成長を
見せた。予選の競技中は
焦りから「手が震えてき
ちゃって」と心が乱れた
というが「今までだった
らラウンドの最後まで引

(織田 匠、写真も)